

見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話 / Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和 4 年 7 月 2 2 日 NO. 4

今町小学校：屋上プール

2 年生「水泳授業」

「あなたは教師ですか？先生ですか？」

～魅力ある教師・先生に～

嘱託指導主事 外山 孝

「師がく」で市内の小中学校にお邪魔しています。どの授業も皆さんが目の前の子どもたちのことを真剣に考え「どのように授業をプランしようか」「どのような教材を準備しようか」等、熱心な取組に学ばせていただいています。ありがとうございます。授業や学級経営へのそんな「ひと手間」が、子どもたちの心を惹き付けることになるのだと思います。

俳優の武田鉄矢さん、「3年B組金八先生」で教師役をされた方です。実際、武田さんは福岡教育大在学の大学3年生の時に教育実習の経験があります。当時、武田さんは久留米市内の小学校で教育実習を行い、6年生を受け持ったそうです。以前読んだ武田さんの本の中にこんなお話がありました。

教育実習生だった武田さん、子どもたちに「武田先生」なんて呼ばれるくすぐったさはそれなりに快感だったとか。先生方から様々なことを教えられ、武田さんなりに、「まあ、教育とはこんなものだろう」と考えていたそうです。そんなある日。武田さんを担当した指導教官が誉めてくださったのだそうです。「武田君、あんた、先生になる資格持つとる」っと。「武田君は教師じゃない、先生になれる」と。教師じゃなくて先生になれる…。その方は、こう付け加えられたそうです。「武田君は子どもに好かれる不思議な才能を持っている…。」

教師じゃなくて先生。皆さんはどう思われますか？教師と先生の違いは何でしょう。武田さんは、その時、『教師』っていうのは、知識を上から下へ伝える技術者』対して『先生』は、内側から子どもを変化させる力を持っている人』と、考えられたそうです。武田さんは例えて、子どもの成長のために良き肥料になれる人が教師、子どものために良き日射しになれる人が先生だと本の中で書かれていました。何となく納得です。

肥料となる教師も大切、素敵な仕事です。日射しとなる先生も大切に素敵な仕事です。『教師』と『先生』どこが違うのだろうかって思いますが、武田さんの考えはなんとなく納得できます。

皆さんは、教師ですか？先生ですか？ 私は、授業や学級経営を通して、子どもに接する時、魅力ある教師、魅力ある先生でありたいと思うのです。



巻頭写真に寄せて「思いっきりプールに入らせたい…」



◇今年、梅雨が短く6月中に梅雨明けをし、連日の真夏日に、今夏の猛暑が心配になった。一方で、新型コロナの影響で出来なかった水泳授業を各校とも3年ぶりに行うと聞き、「子どもたちは、3年分のプールを楽しみにしているだろう」と喜んだ

のだが…7月に入ると雨模様の日が多く、プール日和の日が少なかった。屋上プール
 ◇そんな中、7月の始め、師がくで訪れた今町小学校でプールの様子を見ることができた。(巻頭写真) 2年2組の授業で、担任のK先生とO教頭先生が指導、S先生が監視に当たり、子どもたちは実に楽しそうに見えた。ただ、一授業時間(45分)で、着替え・体操・プール学習・シャワー・着替えを行うのである。入水時間はわずかである。天候だけではなく、プール学習には、何人もの職員が必要となる。子どもたちが満足する回数や入水時間の確保は、難しいのが実情である。さらに、2年間実施出来なかったことで、学校のプールが初めてなのは1年生だけではない。2・3年生も初めてであり、着替えの指導からマナーを含めた安全指導まで、様々な指導が必要であった。一学期、無事にプール学習が行えたのは、先生方の細やかな指導があったからで、感謝である。
 ◇さて、今町小学校は、平成21年に現在の校舎が出来てプールは屋上にある。巻頭写真でプール内に柵が見えるが、2年生が泳いでいる方が浅く、柵の反対側が普通の深さのプールである。教育環境の整ったプールで思いっきり泳がせてあげたいものである。

コラム 一人ひとりに寄り添う先生, 互いを高め合う子どもたち

I小学校 ① I小学校 ② N小学校 ③ N小学校 ④ I中学校 ⑤



◇私が一学期に師がく訪問で、学ばせてもらったのは36授業。しかし実際は、上述のプールのように、師がく以外で参観させてもらった授業も相当数ある。師がくは一日、2時間の参観・指導が基本であるが、空き時間に子どもたちの様子を見て回っていると、教室内から「K先生参観して!」と手招きで呼ぶ子どもがいる。嬉しくなり入室をし、真剣に学ぶ子どもの仲間に入り、私も一時間じっくりと授業を受けたこともあった。

◇さて、上下の10枚の写真を見て欲しい。写真には、子ども一人ひとりに寄り添う先生方がいる。①は4年国語『走れ』指導のS先生。②は5年算数『小数のかけ算』指導のT先生。③は1年算数『いくつといくつ』指導のK先生。④は4年算数『垂直・平行と四角形』指導のK先生。⑤⑥は1年数学『正の数・負の数』指導のK先生。⑦は1年歴史『人類の進化』指導のK先生。⑧は6年算数『小数と分数の計算』指導のI先生。⑨⑩は算数『小数のわり算』指導のY先生である。どの授業も子どもたちは懸命に考え、その考えを交換して高め合う姿が見られた。主体的・対話的で深い学びの子どもたち、それを支え、一人ひとりに寄り添う先生。見附の学校は学ぶ喜びであふれていた。(こ)

I中学校 ⑥ I中学校 ⑦ I小学校 ⑧ N小学校 ⑨ N小学校 ⑩



4時から夢塾 「私の出会った事務の先生方の姿を通して」

第3回4時から夢塾を6月21日(火)に、学校事務職員と若い教員を対象に、見附教育センターの小林 修 先生から「学校運営における学校事務職員の役割」を演題にして、指導を頂いた。指導の様子を簡単に紹介する。



1 私の出会った事務の先生方 (管理職になって以後の出会い)

- ① 糸魚川市のM先生 ② 柏崎市のS先生 ③ 三条市のT先生・S先生・O先生
- ④ 現在の仕事で訪れる見附市のT先生・K先生・T先生

2 学校事務職員の仕事 (児童生徒の教育活動に必要な環境の整備や教育現場の様々な事務)

- (1) 学校経営・企画・運営・連携・渉外, 授業研修等, 行事活動, 研究事業・積極的に参画。
- (2) 財務管理・会計管理や購入した物品・教材の管理, 学校施設・整備などの管理を行う。
- (3) 情報管理・①文書(情報)の受付や処理・整理・保管・廃棄の事務を行う。
②各種証明書の発行, 児童生徒の転出入の事務を行う。
- (4) 人事管理・服務勤務に関する事務や給料・手当・旅費・福利厚生・公務災害事務等を行う。

※ 1の「私の出会った事務の先生方」で、仕事を振り返る。

3 学校事務の共同実施 (若い方が大半)

- ・R 4見附市の事務職員数 14名 ・職名別・事務主幹 2名, 主査 2名, 主任 2名, 主事 6名。
- ・年齢別・50歳以上 3名, 40歳台 1名, 30歳台 6名, 20歳台 4名 ・勤務年数 3年未満 4名。

4 子どもに寄り添う

- ・まずは子どもをよく知ること→気になる子どもがいたら→様々な人から情報を集める。
- ・事務の先生は情報量がとても多い。情報をもとに「保護者との連携」をすることが大事。

5 子どもや保護者の信頼を得る虎の巻・「5点あり」

- (1) もっと子どもと一緒に居ること。 (2) もっと子どもに細やかな目配りをする。
- (3) 話を聞く時は必ずメモを取って聞くこと。 (4) 身だしなみやマナーに気を配ること。
- (5) 子ども一人ひとりの生活態度の問題傾向をきちんと掴むこと。

6 学校運営における学校事務職員の役割

- (1) 電話対応も校内の受付も皆さんは「学校の顔」である。爽やかな対応をすること。
- (2) 教育活動に必要な様々な事務を行う仕事。事務のプロとして確かな業務をすること。
- (3) 力を付け、経営能力を持った学校経営担当職員になって欲しい。

7 最後に・磨いて欲しいもの

- (1) 誠実な仕事の中に「遊び心」を持て。→職員が皆さんを身近に感じられるようになる。
- (2) センスのある仕事を。言葉を変えて言えば、「おもてなしの心」であり、磨いて欲しい。



<参加者の声> ・これまで出会われた方の実践から話を聞かせて頂き、イメージし易かった。

- ・事務のプロとして経験年数に関係なく仕事がしたい。遊び心やセンスを磨いていきたい。
- ・来客接待の話が印象に残った。爽やかな対応を心掛けてはいるが、忙し過ぎて余裕がない。
- ・改めて自分の仕事を振り返ることが出来、これからやる事について考える良い機会になった。
- ・事務職員さんの仕事を聞き、「子どもの笑顔のために」の姿勢は同じということが分かった。
- ・教育補助員さんとの良い関係づくり、寄り添う姿勢、身だしなみやマナー等、再認識出来た。

4時から夢塾 「『私の一日』を伝えよう」

第4回を6月22日(水)、今町小学校5年1組の外国語学習の授業を、有本美智子先生と武石正仁先生(TT)から公開して頂き、この授業について、小林恵子先生の師がく指導を参観者も学ばせてもらった。



1 授業者より…本時の振り返り

本時は、「日課についてインタビュー活動を通して、日常行う動作や時間の言い方を理解し、自分のいくつかの日課を相手に伝えることができること」をねらいとして、授業を進めた。

自分の日課について紹介する単元で、新出の動詞句がたくさん登場する上に、時刻の表現が加わることで、児童にとっては難易度が高い。本時でも、答え方が難しくインタビューがスムーズに進行しない班が見られた。ここでは児童の負担を軽くし、少しでも表現し易いように工夫することが求められる。今回、師がく指導で、その点を解決する方策について指導を頂いた。



2 ミニ講座（指導）…授業者の質問に答えて

(1) What time do you ()? の()内を変化させて質問しなければならないのは、相当難易度が高い。そこで自分が聞きたい内容を一つ(例えば「寝る時間」)にしぼって聞くことにする。そうすることで、疑問文は1種類言えればよいことになる。

(2) 答え方を簡潔にする

I get up at 6:00. を完全な文で返答できなくとも、6:00 が分かれば相手が知りたい情報(時刻)は伝わる。このようにシンプルにすることで難易度がぐっと下がる。

(3) リモートインタビューを取り入れる

一人の児童に学級全体で質問する。その際、同じ答えになる児童もその場に立ち、同様に答える。この方法で、質問の言い方を全体で確認できるだけでなく答える時間も短縮できる。また、文字を読めるようにするために、次のような指導法を助言を頂いた。

① 発音する際、文字にも注目させる。

② 単語を導入する際、類似の音を持つ語を合わせて紹介する。例) at → cat, bat, hat

③ 書いた英語をその場で点検する。

④ カルタなどは英語付きの絵カードだけでなく、英語のみのカードも使った活動をする。

<参加者の声> ・Missing game や Matching game など、子どもたちが楽しく英語を話す活動が色々あったところが印象に残った。班でのインタビュー活動が大変参考になった。(中学校)

・授業を参観し、音のインプットを与えることが大切だと実感した。中学校でも意識したい。

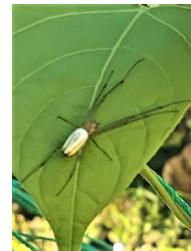
・小林恵子先生から「机間指導をすれば、子どもの改善点が見つけさせる」「会話をする時は必ず立たせる」など、大切な事をたくさん教えて頂いた。(小学校)

・意味や発音をしっかり教え、自信を持って話せるように支援していく必要があると分かった。



7月

科学教育部



《今月の1枚》 コシロカネグモ
葛巻1にて

【夏休み作品展・科学研究発表会を開催します】

9月24日(土)、25日(日)に夏休み作品展、10月6日(木)に科学研究発表会を開催します。例年、夏休み作品展では、各校から工夫を凝らした展示物やアイデアあふれる道具、昆虫標本などが出品されています。科学研究発表会は、中央公民館を会場に感染症対策をした上で実施します。詳しくは、各校に要項を配付しています。科学に触れる充実した夏休みになるようにご指導よろしくお願いいたします。

①テーマ設定をしよう

自然の中、授業で学んだこと、生活の中にある疑問が出発点です。「どうしてだろう?」を大切に研究しましょう。

②調べ方(観察や実験)を考えよう

テーマを基に明らかにしたいことを考え、解決方法を考えます。データを正確に集め、再現性がある実験を計画しましょう。

③観察や実験で調べてみよう

調べたい条件を揃えて、比較しましょう。実験ならば繰り返し行い、観察は毎日続けましょう。新たに疑問に思ったことがあれば、それについても追究できると良いでしょう。

④研究結果をまとめよう

表やグラフ、図を使って、読む人がわかるようにまとめましょう。「研究の動機」→「研究の方法」→「観察・実験」→「結果」→「明らかになったこと・まとめ」の流れで研究を形にしましょう。

第58回 見附市児童生徒
科学研究発表会

自由研究は
楽しいよ!!

身近なところ
に不思議が
いっぱい!!

大発見があ
るかもしれ
ないぞ!!!

観察や実験
で、確かめて
みよう!!

〈小学校の部門〉
低学年 中学年 高学年

〈中学校の部門〉
物理 生物
化学 地学

<日時>
令和4年10月6日(木)
14:05~

<会場>
見附市中央公民館
主催: 見附市教育委員会

令和4年度 見附市児童生徒
夏休み作品展

発明工夫 工作 標本 観察記録

入場無料

<日時>
令和4年9月24日(土)~25日(日)
9:30~16:30

<会場>
まちの駅「ネーブルみつけ」多目的広場

主催: 見附市教育委員会 見附市教育センター
見附市立小・中・特別支援学校校長会

【発明工夫】

○便利なものや飾り、おもちゃなどを作成

【工作】

○身近なものを使って動物などの模型を作成

【標本】

○昆虫や植物、貝などの標本を作成

【観察記録】

○植物などの観察記録を夏休みの成果を作成

例年、様々な作品が出品され多数の方々が来場されます。児童・生徒が工夫を凝らした作品になるようにご指導ください。多数の作品を楽しみにしています。

科学の公園

スズメの大喧嘩

6月の教育センターだよりの今月の1枚で紹介した「スズメの大喧嘩」についてです。詳しく調べてみると、興味深いことがわかりましたので、紹介をします。



スズメについて

体長約 14cm, 太いくちばしで、まるいからだをしている。両足をそろえて、ぴょんぴょんと歩く。渡りをしない留鳥で、主に住宅地や農村など、昔からヒトの住む場所で暮らしている。繁殖期以外は、群れで行動することが多く、警戒心が強い、臆病な性格をしている。草の種子や木になる果実、昆虫や人の出したゴミから、食物を探し食べている。

群れで行動することが多いが、これは、スズメが警戒心が強い性格で、自分1羽だけで危険に備えるより、群れのみんたと協力して見張るほうが、安心できるからそのようにしている。

スズメのケンカの原因

- スズメに恋の季節がやってきたときの、お嫁さんの奪い合い
 - 縄張りの主張合戦
 - エサのトラブル
- などが考えられる。

スズメのように、相手を殺傷するほどの攻撃ができない動物は、降参する相手に対して、攻撃を自制する本能をもっていない。ですので、スズメは、相手がそこから立ち去らない限り攻撃するので、以外にも激しいケンカになってしまう。

参考 <https://wbsjt.jimdo.com/contents/column5/>
<https://xn--zckc1j.xyz/archives/27>